

経営戦略研究科創立10周年 記念講演・シンポジウムを開催

MBA 教育を行うビジネススクールと公認会計士等の職業会計人養成のためのアカウンティングスクールを擁する関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科(IBA)が、今年で創立10周年を迎えたのを記念して、講演会・シンポジウムを開催する。

当日は、NEWS ZEROのメインキャスターでもある村尾信尚・関西学院大学教授による記念講演のほか、IBAへの期待をテーマに、自治体や企業のトップらをパネリストに招いたディスカッションなども実施する。

※一般参加可、申し込み不要、無料。

■日時:9月12日(土)、13時~17時30分
(開場12時30分)

■場所:西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂

■問い合わせ:経営戦略研究科(0798・54・6572)

◆記念講演

「ニュースの現場から世界を見る」

村尾 信尚・関西学院大学教授(NEWS ZEROメインキャスター)

◆パネルディスカッション

「関学IBAに期待するもの」

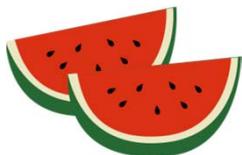
司会:山本 昭二・経営戦略研究科教授

パネリスト:今村 岳司・西宮市長、尾上 広和・グローリー株式会社代表取締役社長、平松 一夫・関西学院大学商学部教授・元学長、渡真利 千恵・株式会社千趣会執行役員・IBA企業経営戦略コース修了生

盛夏休暇のお知らせ

8月13日(木)~21日(金)まで、盛夏休暇となっております。期間中、窓口業務は休止させていただきます。

業務再開は、8月24日(月)からです。ご理解とご了承をお願いいたします。



次号 9月28日(月)発行予定



自転車行脚で途上国の現状伝える ~上ヶ原ハビタット学生ら~

途上国の貧困地域で家を建築するボランティア活動が続けている学生団体「上ヶ原ハビタット」の学生ら38人が、8月31日から9月12日にかけて、日本各地の高校などを自転車で巡り、途上国での活動



家建築活動の様子

などについて報告する「ちゃりんこプレゼン」を実施する。

この活動は、ボランティア活動に必要な「地道さ」をちゃりんこ(自転車)で表現しつつ、より多くの人々に自分たちの活動を知ってもらいたいと同団体が始めた取り組み。2003年から2年に一回実施しており、今回で7回目となる。

今年は、学生たちが広島、和歌山、名古屋の3グループに分かれ、西宮市に向かう道中にある高校や教会など約40か所を訪問しながら総計約1000キロを走行する。

学生たちは今年2月から3月にかけてインドネシア、ネパール、フィリピンで貧しい人々のための家を建てるボランティア作業に参加。現地では孤児院や小学校なども訪問し、



教員の足りない学校では、にわか教師になり、童謡や折り紙など、日本文化を伝える活動などにも取り組んだ。さらに、同団体の学生らは、東日本大震災の被災地支援活動も震災発生直後から続けており、今年6月には宮城県仙台市や石巻などの仮設住宅を訪問し、被災者と交流するなどしてきた。

今回のちゃりんこプレゼンでは、学生たちがこれまでアジアの途上国を中心に実施してきた活動や貧困地域で暮らす人々の写真などをスライドや動画で紹介するほか、訪問先の高校生たちとの座談会も実施し、世界のさまざまな問題について語り合い、ボランティアの大切さなどについて考える。

上ヶ原ハビタット副代表の佐野裕太郎さん(文学部3年生)は「貧困問題解決のために何が出来るか考える良い機会になればいいと思っています。一方で貧困のなかでも明るく生きる子供たちの笑顔なども見てもらいたい。どんな些細なことでも行動すれば何かの力になることも伝えたい」と意気込んでいる。